

会議概要録

開催概要

- 名称: 第 10 回 東区自治協議会 第 1 部会
- 日時: 平成23年3月11日(金) 午前10時00分～午前12時00分
- 場所: 東区役所分館 会議室
- 出席者: 委員
岩橋委員, 新保委員, 海津委員, 鈴木委員, 田中委員, 田村委員, 田畑委員, 山田委員,
: 事務局
総務課安心安全係長 地域課企画係職員

審議内容

(1) 東区の自主防災組織活動マニュアルについて

- 昨年平成 21 年度の第 1 部会では、「自主防災組織の結成率の向上や活動の活性化」について議論しましたが、その際、区の総務課の担当者からも出席してもらい、「平成 22 年度内には東区の自主防災組織活動マニュアルを作成する」という話がありました。この度その『Q&A 式 よりよい組織づくりのための自主防災活動の手引き』が完成したのでその報告があり、それを受け委員が質問・意見を述べました。

(担当者からの報告)

- 冊子『Q&A 式 よりよい組織づくりのための自主防災活動の手引き』の構成
 - Part1 あなたのまちの自主防災組織は活動的ですか？
 - Part2 地道な日常活動が地域の防災力を高めます
 - Part3 実践的な訓練で災害対応量を身につけましょう
 - Part4 的確な応急活動があなたのまちを守ります
- 活用の予定
平成 22 年度ではこのマニュアルを 300 部印刷し、各コミュニティ協議会と自治協議会に配布する。来年度は更に増刷をして防災の勉強会などで利用するなどして活用していく。

(委員意見)

- 活用方法について
 - ・ 自治会やコミュニティ協議会に配布するだけでは作った意味がない。配布した後もどのように活用していくのか示してもらいたい。
→(事務局)まずは希望された団体に区の防災担当の職員を派遣し、勉強会を行なうときこのマニュアルを用いていきたい。
 - ・ 4 つのパートのうち Part1 Part2 は自治会やコミュニティ協議会の防災担当の方向けであるので、一般市民に配布するときは Part3 以降だけの方がわかりやすくよいと思う
→区だよりに特集として掲載すれば効果的に見ってもらえると思う。
 - ・ これまでコミュニティ協議会で独自に製作した防災マニュアル(避難所運営マニュアル)もあるが、それはどう活用すればよいのか？
→今回完成した冊子は総論的な内容なので、避難所の運営などより具体的な内容の時にはそのマニュアルを活用すればよい。
- 部数について
 - ・ 300 部では足りないのではないだろうか？自治会やコミュニティ協議会に数部配布されても勉強会などは出来ない。
 - ・ 自分たちでコピーして配布することは可能か

→(事務局) 著作権の関係もあり難しいと思う

- ・ 冊子を購入することは可能なのか

→(事務局) 1部 250円ほどになる

- 自治協議会の関与について

- ・ 今年度中に製作するという事で時間的余裕がなかったのかもしれないが、製作段階で自治協議会の意見を聞くような場所があったほうが良かったのではないかと。

→(事務局) 自治協議会委員と意見交換を行なう場を設置できなかったことに関しては申し訳なく思う。

(2)コミュニティ協議会の活性化について～自治協会長会議のプロジェクトチーム会議に参加して思うこと～

- 12月から2月にかけて、各区の自治協議会の委員の代表者が集まり、4つのプロジェクトチームに分かれてそれぞれ与えられたテーマについて課題を検討を行いました。第1部会からは岩橋委員が参加し「コミュニティの活性化」というテーマについて取り組んできました。今回はそのプロジェクトチームでの内容について報告が岩橋委員からあり、それについて各委員が意見交換を行いました。

(岩橋委員からの報告)

プロジェクトチームは「コミュニティの活性化」というテーマについて具体的検討項目を「コミュニティ協議会活性化に必要な環境整備について」と設定し、各区における現状把握およびこれに基づく活性化の課題について検討しました。

- コミュニティ協議会の活動環境に関する調査

各コミュニティ協議会の活動環境を把握するため、各コミュニティ協議会に対し以下の項目について調査を行いました。

- ・ 専用事務室・専任事務職員・専用事務機器の設置状況
- ・ 役員会等開催状況
- ・ 区自治協議会との関係
- ・ 広報誌の発行
- ・ 活動費

- プロジェクトチームで出された課題

- ・ 区によってコミュニティ協議会の専用事務所や専任事務職員の有無など活動環境が著しく異なる。
- ・ コミュニティ協議会によって、市からの補助金の金額が大幅に異なり、それがコミュニティ協議会の活動環境にも影響を与えている。

(委員会らの意見)

- ・ 補助金の申請の簡素化を図ってもらえれば、より活発に活動が出来るのではないかと。
- ・ 年度が終わったときに補助金が払われる形だと活動が行ないにくいので半額を前払いにしてもらいたい。
- ・ 行事などの活動もそうだが事務所等の管理費なども支援があったらと思う。

(3)第1部会での活動を振り返って

- 今回をもって、平成22年度の第1部会は終了となるため、最後に各委員からこれまでの部会活動を振り返って一言ずつ発言がありました。

さいごに

次回の部会については自治協議会の委員が大幅に入れ替わることから5月以降(時期未定)になります